

## 【1 分解説】三位一体の労働市場改革とは？

総合調査部 マクロ環境調査グループ 主任研究員 白石 香織

「三位一体の労働市場改革」とは、「経済財政運営と改革の基本方針 2023（骨太方針 2023）」において示された、「①リ・スキリングによる能力向上支援」、「②個々の企業の実態に応じたジョブ型人事（職務給）の導入」、「③成長分野への労働移動の円滑化」の3つを柱とする政府の新しい改革の方向性を示すものです。また、2024年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2024（骨太方針 2024）」においても、「三位一体の労働市場改革」の推進が掲げられています。

「骨太方針 2024」において、「①リ・スキリングによる能力向上支援」では、全世代型リ・スキリングを推進し、教育訓練給付を拡充・拡大する方向性が示されました。また、「②個々の企業の実態に応じたジョブ型人事（職務給）の導入」では、ジョブ型人事導入の参考となる事例集「ジョブ型人事指針」を今夏に公表する予定です。さらに「③成長分野への労働移動の円滑化」では、2025年度にリ・スキリングのプログラムや施策内容等の情報を可視化するプラットフォームの整備を開始する予定です。

政府はこれらの3つの改革を一体で進め、成長分野への労働移動を進めることで持続的な賃上げの実現を目指しています。こうした動きは、「雇用維持」から「労働移動」を軸とする労働政策への転換の表れともいえます。

### 関連レポート

・白石香織「リスクリング 1兆円予算で賃上げできるのか？ ～1兆円予算の中身は？カギはスキルを高める労働移動～」(2022年12月)

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/218906.html>

・白石香織「ここが知りたい『政府が1兆円投資するリスクリングとは？』」(2022年12月)

<https://www.dlri.co.jp/report/dlri/216262.html>

・「企業の枠を超えた「連携型リスクリング」～コンソーシアム設立にみる今後のリスクリングの方向性～」(2022年8月) <https://www.dlri.co.jp/report/ld/200743.html>

・「リスクリング時代に広がるオープンバッジの活用～学びを仕事につなげ、円滑な労働移動へ～」(2022年6月) <https://www.dlri.co.jp/report/ld/192176.html>

・「ここが知りたい『世界が注目の人事戦略「リスクリング」の導入に向けて』」(2021年10月) <https://www.dlri.co.jp/report/dlri/162276.html>

・「コロナ後、企業存続のカギはリスクリング～リスクリングを契機とした学び続ける仕組みの構築～」(2021年8月) <https://www.dlri.co.jp/report/ld/160077.html>